

ツーバイフォー告示1540号仕様規定ルートのチェックフロー Ver2.0

使い方

告示には、原則として守るべき事項が列記されていますが、ただし書きや構造計算により除外される項目があります。その規定が同じ条文の中にあたり、あとから出てきたりして複雑で、見落とす心配があります。また、告示に「構造耐力上有効に」とか「安全なもの」と書かれていても、支援機構の標準仕様書に従うことで安全が確かめられたものと捉えることが可能とされています。そこで、上から順にチェックしていき告示の全部に適合させるように並び替えたシートを作成しました。記載されている内容に合致する場合はYESの番号へ進み、合致しない場合はNOの番号へ進むことで必要な構造計算に行き着くようにしています。ただし根太やまくさなどの横架材の断面確認には、信頼できるスパン表が構造計算が必要です。2020年の土法改正により建築士事務所の図書保存制度が見直され、構造計算書の保存が義務化されました。もし仕様規定のみで設計できず、計算に行き着いたら構造技術者にご相談ください。2025年4月特例廃止に伴う告示改正対応の速報版です。なお、本紙は個人の理解の助けとなることを目的として作成したもので、法令に解釈を加え表現を変えたり省略したりしているため、利用される場合はご自身の責任でお願いします。本紙に基づいて被ったいかなる損害に関しても当方は一切の責任を負いかねます。

凡例 手引：「2018年枠組壁工法建築物設計の手引」（一般社団法人日本ツーバイフォー建築協会）
指針：「2018年枠組壁工法建築物構造計算指針」（一般社団法人日本ツーバイフォー建築協会）
* 機構：「枠組壁工法住宅工事仕様書(2019年版）」（住宅金融支援機構）
第9◆：告示第9に記載の計算が必要、第11◇：告示第10に記載の計算が必要、第11□：告示第11第2号イロハに記載の計算が必要、第11△：告示第11第2号イハに記載の計算が必要、【計】：部位の構造計算など根拠が必要、●：指定の計算が必要

Table with 13 columns: No., 条項, 内容, 参照, YES, NO, 告示1540号第1号~第3号許容応力度(当該部分), 告示1540号第1号~第3号許容応力度(建物全体), 告示1540号第4号, 告示1540号第5号, 告示1540号第6号, 告示1540号第7号, 告示1540号第8号, 告示1540号第9号, 告示1540号第10号, 告示1540号第11号. Rows 1-89 detailing construction specifications and calculations.

END